

特別講演 2

「漢方薬の利尿剤を活用した高齢者心不全管理」

獨協医科大学 内科学（心臓・血管）主任教授

豊田 茂 先生

心不全パンデミックのいま、高齢者心不全患者に対する治療において、複数の合併症や身体活動能力を考慮した多角的なアプローチが必要とされています。ゆえにエビデンスのある薬剤はもちろんのこと、それぞれの患者に応じた治療が必要となってきます。漢方薬の利尿剤は、心不全に伴う浮腫の改善に有効であることが報告されています。本講演では、利尿剤である五苓散を中心に、西洋医学の利尿薬やトルバプタンとどのように併用し、心不全管理に貢献するかをキーワードとなるアクアポリンを含めて解説します。また、漢方薬が持つ全身への調整作用が、体力が低下した高齢者心不全患者の QOL 向上に寄与することについて解説します。漢方薬と西洋医学の統合的な治療戦略が、今後の高齢者心不全管理において重要な選択肢となる可能性があることを解説したいと思います。